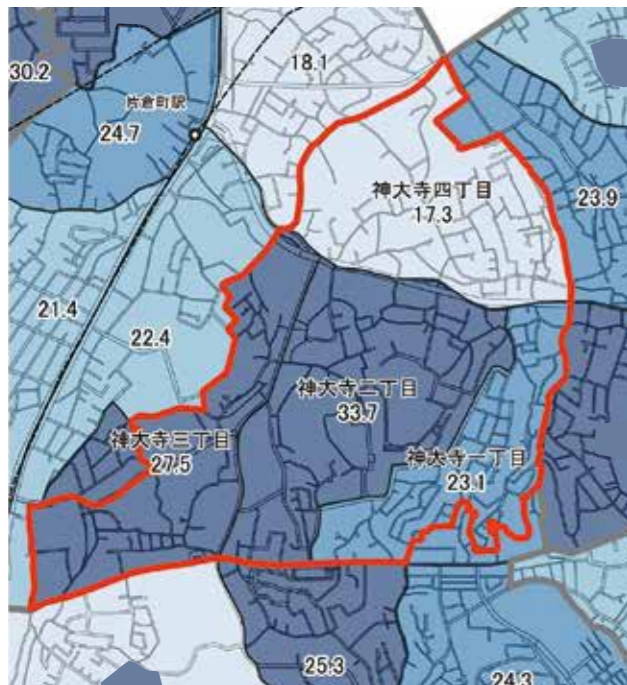
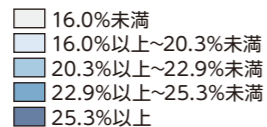


高齢者の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

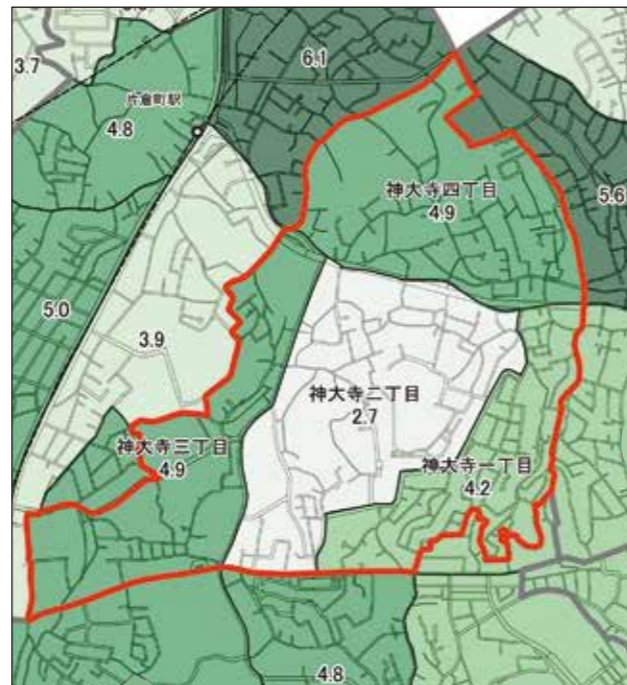
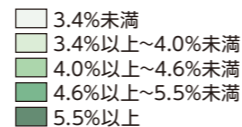
高齢者(65歳以上)比率(%)



未就学児の分布

※住民基本台帳による、  
令和3年3月時点

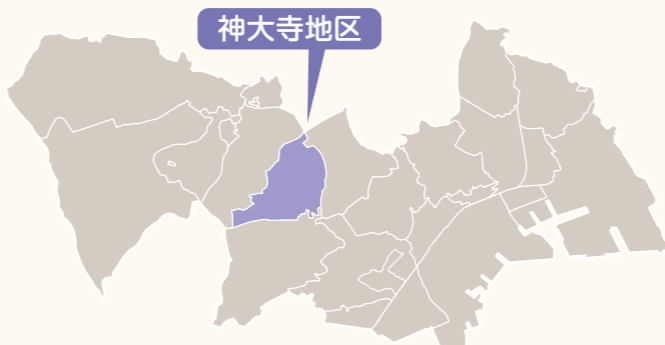
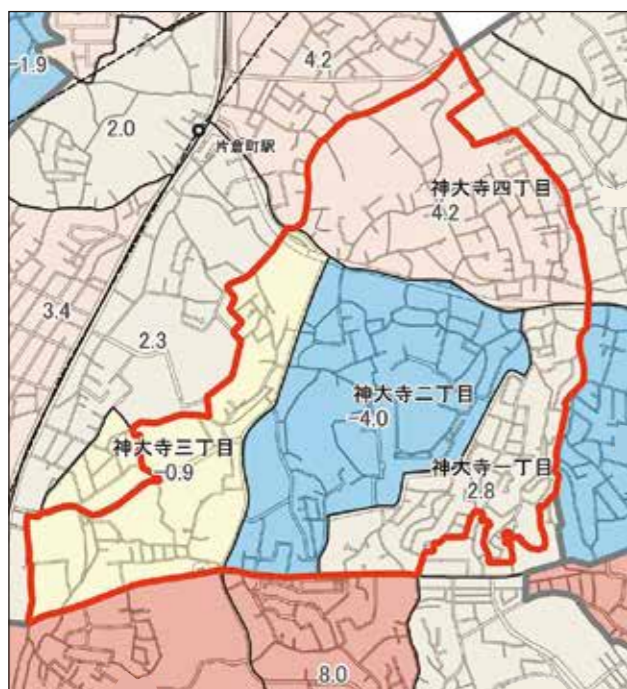
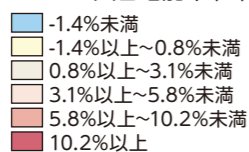
未就学児(0～5歳)比率(%)



人口増加率

住民基本台帳による、  
平成28年3月及び  
令和3年3月時点

人口増加率(%)



※区の高齢人口比率は、22.0%です。(令和3年3月時点)  
※区の未就学児(0～5歳)の比率は、4.5%です。  
(令和3年3月末時点)  
※区の人口増加率は、2.9%です。(令和3年3月時点)  
※高齢者や未就学児の比率は、色が濃いほど高くなります。  
※人口増加率は、町丁目別の人口の増減率を示しており、赤は人口の増加率、青は人口の減少率です。色が濃いほど増加または減少の比率が高いことを示しています。  
※横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9016号

この計画は、住み慣れたまちで安心して暮らせることを目指し、地区内の様々な人・団体の想いが込められています。

区の計画や他地区の計画は、  
区HPをご確認ください▶



つながり支え合うまち 神大寺

- 地区センター・公会堂・集会所等
- ⊕ 病院
- 地域ケアプラザ
- 福祉施設
- 小学校
- 中学校

- 樹林地
- 農地・農業施設用地
- 都市公園
- 文教厚生用地



地区概要

起伏のある丘の上の住宅地です。戸建て住宅が多いですが、集合住宅も多くあります。地区に近接して、市営地下鉄ブルーラインの片倉駅があります。地区の北側には農地(市街化調整区域)があります。地区の南側には樹林地や神大寺中央公園があります。地区の一部が、大規模震災時の火災の延焼拡大抑止に向けた対策が必要な地域とされています。

人口・世帯数等の概況(令和3年3月現在)

	神大寺地区	神奈川区
総人口	13,326人	241,561人
0～14歳	1,411人(10.6%)	27,491人(11.4%)
15～64歳	8,328人(62.5%)	160,934人(66.6%)
65歳以上	3,587人(26.9%)	53,136人(22.0%)

	神大寺地区	神奈川区
総世帯数	6,875世帯	128,838世帯
平均世帯人員	1.94人	1.87人
65歳以上ひとり暮らし世帯	1,169世帯(17.0%)	18,089世帯(14.0%)



## これまでの取組

神大寺地区では、各地域でさまざまな活動を通して、地域づくりが行われています。

### 目標1 心が通い合う顔の見える関係づくり

- サロン活動 ● つくし会 ● グランドゴルフ大会
- 神ちゃん家(子どもの居場所づくり検討会)
- 神大寺ウオーク



▲神大寺ふれあいサロン

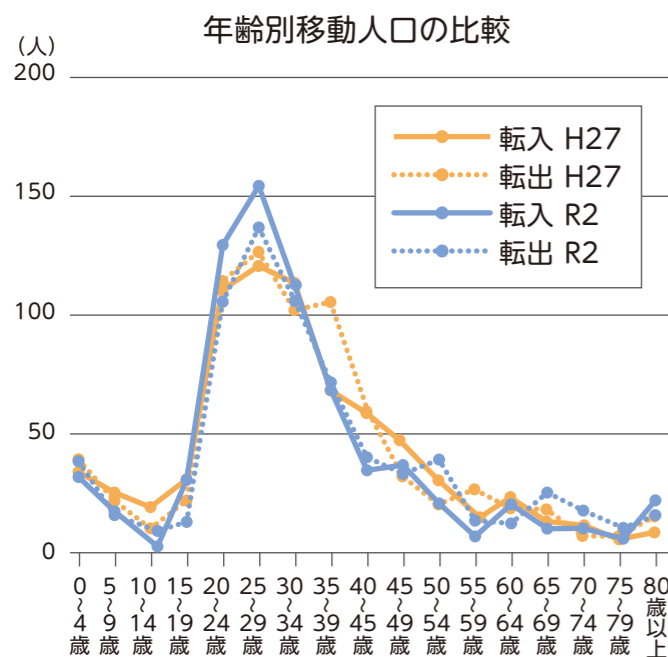
### 目標2 地域の特性にあった安心して暮らせるまちづくり

- 子どもの見守り(学援隊) ● 防犯パトロール
- 防災訓練 ● ふれあい活動
- 支え合いマップ作成

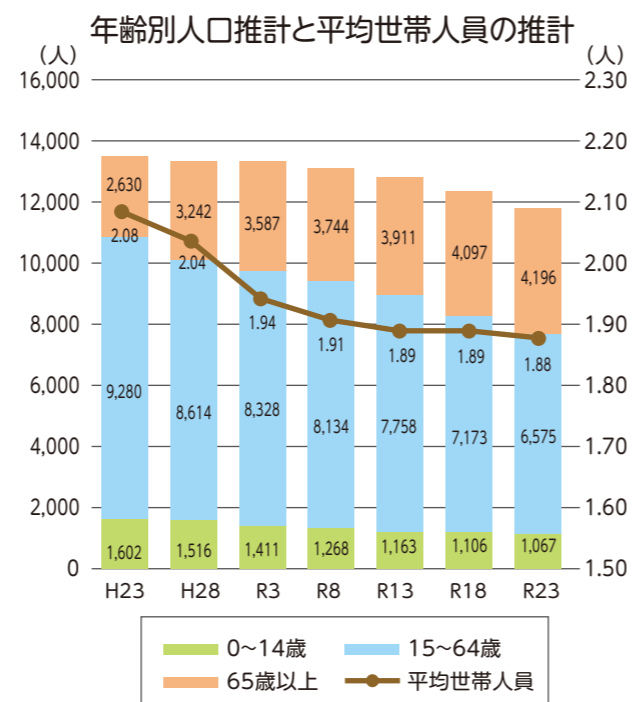


▲防犯パトロール

## 地区状況①



※各年の住民基本台帳(3月)



※各年の住民基本台帳(3月)の実績値をもとに推計

# つながり支え合うまち 神大寺

自助・共助・公助それぞれを高め、地域の特性にあった安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。そのために、地域をあげて相互に連携し、世代間の交流の機会やつながりを一層広げるとともに、新しい担い手が登場しやすいきっかけをつくっていきます。



## 目標1 心が通い合う顔の見える関係づくり

### 取組例

- これまでの世代・住民交流イベントだけではなく、Withコロナでの高齢者の新たな交流の形や直接会えなくても住民同士の見守りや支え合いのつながりを絶やさない取組について検討していきます。
- より身近な(小規模な)隣近所でのつながり、支え合いをつくっていくためのきっかけづくりを進めます。
- 地域にある福祉施設と地域の活動団体が連携し、世代や障がいの有無に関係なく楽しく交流できる機会を検討していきます。
- 新しく転入してくる方々を対象に自治会情報を提供し、地域に参加しやすくなるようなきっかけをつくります。

## 目標2 地域の特性にあった安心して暮らせるまちづくり

### 取組例

- 子どもや高齢者を見守る人がお互いに横につながり協力できるよう、地区全体で見守りの状況を共有し、より良い見守りの方法(見守り協力店等)を検討し、取り組みます。
- 小規模なまとまりでの支え合いマップの作成・ふれあい活動・さりげない見守り、防災グッズなどの配布を通して、つながりや見守りを充実させます。また、日頃から災害時要援護者を把握し、支援方法を検討します。
- 日常生活のちょっとした困りごとを助け合う仕組みを検討します。
- 防災について、これまでの常識ではなく新しい知識を学ぶ機会をつくります。
- 自然災害、疫病災害などの非常事態に備え要支援者の確認更新作業を進めます。
- 特殊詐欺などの身近に起きた事件情報を地域で共有し、注意喚起を行っていける仕組みを検討します。
- 子どものうちから地域への愛着を育み、若い世代の力を発揮できる機会づくり、環境づくりを検討していきます。
- 地域の中で行っている活動や取組を地域内に周知するため、従来の広報誌やチラシの発行、掲示板への貼り出しに加え、インターネットの活用など多彩な方法で広く紹介していきます。

